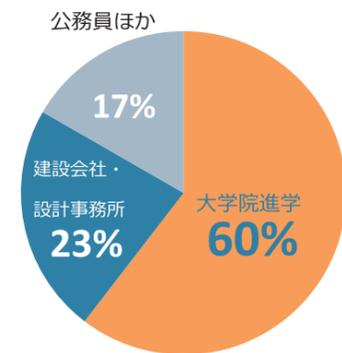


## 卒業生の進路

本プログラムの卒業生はおもに建築関連の民間企業に就職します。例えば、建築設計事務所（建築設計・構造設計・設備設計）、大手建設会社、住宅メーカー、都市計画系コンサルタント、鉄道や電力などの公益企業です。これらの会社で建築の専門家として活躍しています。ほかに国家公務員や自治体の建築専門職員として、建築行政に関わる卒業生もいます。

また、学部卒業生の半数は大学院に進学します。大学院において、より高度な建築学の理論や知識を学び、修了後の就職先を専門性の高い建築職種へ広げています。



4年生の進路（2023年度の実績）

## 一級および二級建築士の資格

所定の単位を取得して本プログラムを卒業すると、一級および二級建築士試験の受験資格が得られます。2023年度の一級建築士試験では31名の本プログラムの卒業生が合格しています。卒業生数は45名程度のため、卒業生数当たりの合格率は全国の大学の中で高い方です。

## アクセス

建築学プログラムのある工学部E棟と総合研究棟(環境・エネルギー系)は、新潟大学五十嵐キャンパスの西側に位置し、鉄道の最寄駅はJR内野駅となります。バスでお越しの際は、新潟交通の新大西門前バス停をご利用ください。自家用車には入構規制がありますので、可能な限り公共交通機関のご利用をお願いいたします。

■鉄道：新潟駅ー内野駅 所要時間約25分、下車徒歩約15分 ■バス：新潟駅ー新大西門 所要時間約45分、下車約徒歩5分



新潟大学  
五十嵐キャンパスマップ

〒950-2181 新潟市西区五十嵐2の町 8050 新潟大学工学部E棟1階 建築学プログラム事務室 (Tel. 025-262-7204)  
更に詳しい教育・研究内容は新潟大学工学部工学科建築学プログラムのホームページ (<http://www.eng.niigata-u.ac.jp/~kenchiku/index.html>) からご覧になれます。右記のQRコードからもホームページにアクセスが可能です。



環境と調和した快適な建築・都市空間をめざして

## 新潟大学工学部工学科 建築学プログラム



建築設計製図Ⅲの発表会

## 建築学プログラムでは・・・

建築学プログラムでは、下記の3点から建築の基理論と技術を学びます

入学後、1年次に教養科目と工学に関する基礎的な科目を履修し、2年次以降に建築学の専門科目を履修します。4年次には各教員の運営する研究室に配属があり、研究室の専門テーマにあわせて卒業研究・卒業設計に取り組みます。

- (1) 都市・建築および人間の安全性と健康性を確保するための建築構造物の構築
- (2) 都市・建築の空間機能、環境性能、空間造形の特性や、環境と生活との関係を多面的に捉えた、快適で安全かつ健康的な居住環境の計画と設計
- (3) 社会的・文化的側面を含めた総合的視点にもとづく、豊かで持続可能な都市・建築環境の創造

## 新潟にある大学として・・・

新潟市は本州の日本海側唯一の政令指定都市として発展しています。また、開港から150年の歴史を持つ港湾都市でもあります。

本プログラムは、この新潟市、そして新潟県に立地する環境を活かし、豊富な建築・都市の文化遺産をフィールドとした実践的な教育プログラムを提供しています。



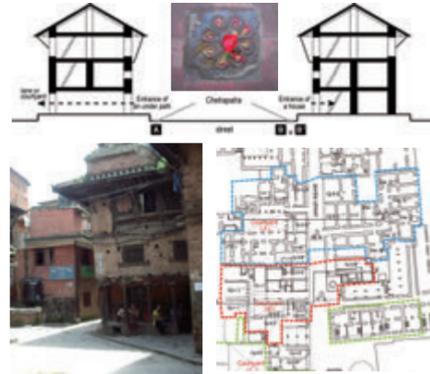
旧新潟税関庁舎（重要文化財）

# 教育・研究紹介

## 特色ある教育：「建築計画演習Ⅰ・Ⅱ」

3年次の「建築計画演習Ⅰ・Ⅱ」では、新潟市内の住宅地を対象として、実際にまちに出てフィールドワークを行います。

フィールドに赴く前に、まずは海外を対象とした都市住宅の読み解き方の事例を学びます。そのうえで聴講者の自らの目で、フィールドをよく観察し、住まいと生活の営みの特徴を把握し、それらがどのように関わりあっているのか、それぞれの視点で理解する実践的な講義です。



### 近年の主な受賞歴

【都市計画・デザイン演習】  
2019 日本工学教育協会工学教育賞  
(業績部門)

ほか

日本建築史	建築環境工学Ⅰ・Ⅱ、演習Ⅰ・Ⅱ
近代建築史	建築環境制御学Ⅰ・Ⅱ、演習Ⅰ・Ⅱ
建築計画学Ⅰ・Ⅱ	建築構造解析学・演習Ⅰ～Ⅳ
建築計画演習Ⅰ・Ⅱ	建築構造設計Ⅰ・Ⅱ、演習Ⅰ～Ⅳ
設計方法論	建築材料・構造実験Ⅰ・Ⅱ
都市計画学Ⅰ・Ⅱ	建築材料
都市デザイン論	建築施工
都市計画・デザイン演習	建築法規
建築設計製図Ⅰ～Ⅵ	ほか

建築学プログラムのおもな科目

## 建築学プログラムの研究分野

建築学プログラムには、「建築材料・構造」「建築環境工学」「建築計画」「都市計画」という四つの分野の研究室があります。各分野の研究室では、安全・快適で持続可能な暮らしを実現するため構造・環境・計画・都市をキーワードとして、研究課題に取り組んでいます。

### 建築計画分野

建築計画とは、設計する前に概略の方針を決めることを指します。住む人の価値観や考え方を反映させられるようにするため建築計画分野では日本の住居や集落のフィールドワーク、中国・フランスの海外住居、学校建築の調査・分析ネパールの世界遺産都市で住居類型から都市の構成や形成過程を読み解く研究に取り組んでいます。また、建築デザインの実践的提案もしています。(黒野弘靖/棒田恵/宮内杏里)



科学技術交流悠久会館の建設現場でのデザイン検討

### 建築材料・構造分野

安全で災害に強い建築物を実現するための研究をしています。建物を構成する柱や壁の地震時挙動の検証実験や、建物の耐震性能を解析して構造設計に生かす方法を開発しています。また、2004年新潟県中越地震や2011年東北地方太平洋沖地震などにおける建物の被害事例を詳細に分析し、将来、大地震が起きた時に被害の再発を防ぐための研究も行っています。(中村孝也/寺西正輝)



鉄筋コンクリート柱の破壊実験

### 都市計画分野

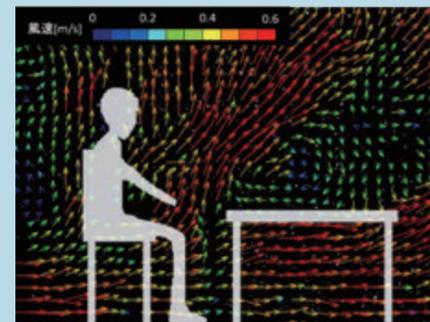
成熟期を迎えた日本において豊かな都市環境を創造するためには、都市の歴史や文化を尊重し、市民が主体的に参加するまちづくりが重要です。そこで、都市計画分野では景観調査などによって埋もれた地域の魅力を発掘し、自治体や市民と協力しながら実際の計画策定やまちづくりに取り組んでいます。また、海外の先進的な制度を調査し、21世紀にふさわしい制度設計の提案もしています。(岡崎篤行/松井大輔)



ボストンの歴史地区(研究対象地)

### 建築環境工学分野

建築環境工学分野では健康で快適な建築内外の環境を、最小のコストとエネルギーで創造するための研究を行っています。地球環境・資源の持続性と、快適性への要求という相反する要素の両立が、チャレンジングな課題となっています。住宅内の換気・通風・エネルギー消費パターン、軽くて音を遮る性能の高い壁構造、環境シミュレーションなどに関する研究を行っています。(大嶋拓也/有波裕貴)



室内気流に関する流れの可視化実験

※括弧内は分野を担当する教員の氏名です。